Photo sketch

4/2 探検にレッツゴー！

整備された遊歩道やコースだけではなく、雑木林の中を地形図を読み解きながら探検ムードたっぷりに進む、「土岐市探検ウオーキング」が行われました。今回の主な探検先は駄知町。参加者らは同町にある不動滝や夕立山、下石町の日帰トンネルなどを目指して、野山をかき分け約５kmの道のりを歩きました。

各スポットに辿り着くと、子どもらは普段目にすることのない光景に大喜び。また、参加した大人は「なかなかこんなところを歩く機会もなく楽しかった」と、まだ少し肌寒い春に爽やかな汗を流していました。

4/4 祝！300万人達成

曽木町にある温泉活用型健康増進施設「バーデンパークSOGI」の利用者数が300万人を達成しました。同施設は平成18年４月にオープンして以来、健康づくりや温泉を満喫したりするなど、毎年20万人以上の方が利用してきました。

この日300万人目の利用者となった方は、「ここはお湯がきれいで、食事ができるところも良い。これからも利用したい」と、突然の出来事に驚きながらも、うれしそうに話してくれました。

4/12 長年行政相談委員として活躍

昭和62年から29年８カ月の長きにわたり行政相談委員を務められた金山富士子さん(泉町)に、行政相談制度の発展に寄与されたとして総務大臣の感謝状が伝達されました。

金山さんは「長い年月だけど自分としてはとても短く感じている。地域の皆さんの支えがなければここまで続けることはできなかった。相談者からの感謝の言葉にやりがいを感じた」と、多くの経験を振り返りながら話してくれました。

4/14 元気なホタルに育ってね

山神保育園近くの小川で、ホタルの幼虫放流会が行われ、下石自然を守る会のメンバー11人と同園の４歳児18人が参加しました。

同会のメンバーが昨年から育てた約250匹のホタルの幼虫とえさとなるカワニナを、園児らが一人ずつ放流しました。最後には「きれいなホタルになってね」と、全員で元気いっぱいに呼び掛けていました。

毎年放流を続ける同所では野生のホタルも生息しており、今年も６月中旬頃にはたくさんのホタルが舞う姿を見られそうです。

3/23 ふるさとを味わう

中学生学校給食選手権において「ふるさと給食最優秀賞」に輝いたメニューが、市内全中学校の給食で提供されました。これは地域の食材をふんだんに使って栄養バランスを考慮し、おいしく楽しく食べることができるメニューとして、肥田中1年の生徒３人が考案したものです。

この日、同校の生徒らは、給食用の食材を提供する地元生産者の方々にあらためて感謝の気持ちを伝え、一緒に給食を味わいました。また、給食を食べると「コーンの甘味が最大限に生かされている」、「野菜嫌いでもおいしく食べられるよう工夫されている」など、受賞メニューに太鼓判を押していました。

4/15～16 どの器にしようかな

セラトピア土岐周辺で、第21回TOKI－陶器祭りが開催されました。陶芸作家の掘り出し物や逸品物が見つかる「美濃焼買道市」では、ズラリとテントが並び多くの美濃焼ファンや家族連れで賑わいを見せました。

また屋内では、「ミニアクセサリー絵付け」や「お絵かきマグカップ」、「陶製ハガキ」などの体験コーナーも設けられ、子どもから大人までセンスを光らせ、夢中になって楽しんでいる様子でした。